

2018年7月11日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所
CCC マーケティング株式会社

**第8回 データビジネス創造コンテストを開催
～Digital Innovators Grand Prix 8 (DIG8)～
「書店の未来」をテーマに、読書文化の未来を創造するような
ネット時代の「Neo 書店」の提案**

慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：田中 浩也）データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、今回のビジネスパートナーである CCC マーケティング株式会社（代表取締役社長：北村 和彦、以下 CCC マーケティング）のサポートのもと、「第8回 データビジネス創造コンテスト～Digital Innovators Grand Prix 8（略称：DIG 8）」を開催いたします。

1.趣旨

本データビジネス創造コンテストは、全国の高校から大学院に通う生徒・学生を対象として、「書店の未来」をテーマに、書籍販売データやオープンデータ等を利用し、読書文化の未来を創造するようなネット時代の「Neo 書店」の提案を競うものです。

慶應義塾大学 SFC 研究所は、今回のコンテストのテーマ策定や審査、表彰等の運営をビジネスパートナーの CCC マーケティングとともに進めていきます。また、CCC マーケティングより、「TSUTAYA」「蔦屋書店」の書籍販売データを、今回のコンテストに活用するためにご提供いただきます。なお、提供いただくデータは、特定の個人を識別できないように統計加工処理をしたデータの一部となります。

CCC マーケティングは、お客さまよりお預かりした T カードのデータを社会や生活者へ還元していくことが企業としての社会的責務と考え、T カードのデータに接する機会を広くオープンにしていこうと取り組んでいます。今回はその取り組みの一環として、本コンテストにデータを提供し、参加者がデータに触れながらビジネスを創造することで、データの新たな価値の創造や再発見につながることを期待するものです。

2.実施・概要

■テーマ（目的）

「書店の未来」

■評価の観点

データ活用	提供データをうまく活用しているか
データ収集	提供データ以外にもデータを集めているか
データ解析	データをきちんと解析できているか
顧客価値	利用する人の立場にたっているか
実現・継続性	実際に実現でき、継続できるものか

■スケジュール

申し込み開始	2018年7月6日(金)
エントリー締切	2018年8月22日(水)
本選出場チーム発表	2018年9月3日(月)
本選プレゼンテーション・表彰式	2018年9月15日(土)

慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホールにて開催

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院に所属する生徒・学生
(社会人経験者を除く)

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

CCC マーケティング株式会社

■後援

経済産業省、応用統計学会、国立研究開発法人 科学技術振興機構、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所、一般社団法人 情報処理学会 情報処理教育委員会 (申請中)、一般社団法人 データサイエンティスト協会、独立行政法人 統計センター (申請中)、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会、一般社団法人 日本統計学会、公益社団法人 オペレーションズ・リサーチ学会 (申請中)、公益社団法人 私立大学情報教育協会 (申請中)

■協力

アクセンチュア株式会社、株式会社ブレインパッド、NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社、株式会社電通、株式会社デジタルガレージ、株式会社 TSUTAYA

詳細は、第8回データビジネス創造コンテスト公式サイト

(<http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig8/>) をご覧ください。

【CCC マーケティング株式会社について <https://www.ccmk.co.jp/>】

企業や生活者のさまざまな課題やニーズに沿ったご提案ができるよう、ライフスタイル・データとノウハウを組み合わせ、世の中に向けて、新たな価値を提供していくマーケティングプラットフォーム事業会社です。2018年1月～4月にかけて、データに接する機会を広くオープンにし、より良い豊かな暮らしにつながるライフスタイルの企画を創出するオープンイノベーションプロジェクト「DATA DEMOCRACY DAYS」(<https://www.ccmk.co.jp/ddd/>)を実施いたしました。

【慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボについて <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/>】

データビジネス創造・ラボは、慶應義塾大学 SFC 研究所内に設置された、IT、統計、ビジネスデザインの融合方法を研究するグループです。データサイエンティスト育成カリキュラムの構築、ならびに先進的なビッグデータの集計・解析手法等の共同研究を行うとともに、2014年からは、産官学協働のもとデータ分析によって導き出されるアイデアを競い合う「データビジネス創造コンテスト」を開催しています。

「データビジネス創造コンテスト」過去のテーマ

第1回 (2014年4月)	「ソーシャルデータ」を用いた新たなサービスへの展開やその価値について
第2回 (2014年9月)	「オープンデータ」を用いた自治体の新たな政策や解決方法について
第3回 (2015年9月)	「消費者の購買行動に関するデータ」を用いた新商品・新サービスの開発アイデアや新たなプロモーション施策について
第4回 (2016年3月)	「データと創造力で、子育てに笑顔を！」をテーマに、自ら情報収集・分析し、少子化問題への理解を深めるとともに、データ分析から導きだされるビジネスアイデアの提案について
第5回 (2017年3月)	「地方創生・地域活性化」をテーマに外国人のWiFiアクセス分析やオープンデータを使った分析によって、訪日外国人を呼びこむ施策の提案について
第6回 (2017年9月)	「スポーツ×アナリティクスによる未来創造」をテーマに、スポーツおよびスポーツ観戦にかかわるデータの分析を通じた、個人・団体・社会の活性化施策の提案について
第7回 (2018年3月)	「和食文化による価値創造」をテーマに、消費者発信のクチコミデータを活用し、様々な分野で和食文化による新たな価値を創造する施策の提案について

【慶應義塾大学 SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>】

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21世紀の先端研究をリードする研究拠点として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

*本ニュースリリースに掲載されている会社名・商品名は、それぞれ権利者の商標または登録商標です。

*本選の観覧、取材等をご希望の方は、下記コンテストお問合せ先にご連絡をお願いいたします。